SONY

5-018-260-05(1)

RAW Exporter

ヘルプ

Software Version 5.0

© 2013 Sony Corporation

目次

概要 3
実行環境 3
記述方法 3
パラメータ 4
入力ファイル関係のパラメータ 8
出力ファイル関係のパラメータ 8
ビデオ関係のパラメータ 10
オーディオ関係のパラメータ 19
色処理関係のパラメータ 20
メタデータ関係のパラメータ 32
パラメータファイル関係のパラメータ 34
その他のパラメータ 34

概要

RAW Exporter は、RAW Viewer の Export 機能をコマンドラインで実行するためのツールです。RAW Viewer の画面で設定する内容を、RAW Exporter のパラメータとして指定できます。
パラメータの内容を別ファイルに設定して、実行することもできます。

実行環境

RAW Viewer に準じます。詳しくは、RAW Viewer のインストールガイドをご覧ください。

RAW Exporter は、RAW Viewer の実行ファイルと同じフォルダにインストールされます。
デフォルトのインストールフォルダは次のフォルダです。
Mac OS の場合：/Applications/RAW Viewer.app/Contents/MacOS/rawexporter
Windows の場合：C:¥Program Files¥Sony¥RAW Viewer¥rawexporter.exe

注意: PATH 環境変数は、自動では設定されません。必要に応じて、環境変数を設定してください。

記述方法

RAW Exporter を実行するときは、rawexporter の後にパラメータと引数を指定して実行します。パラメータとパラメータ、パラメータと引数の間はスペースで区切って入力します。

例：

```
> rawexporter --input aabb --out bbcc
```

パラメータ

パラメータ	機能
入力ファイル関係のパラメータ	
--input [-I]（ファイル名）	入力ファイル名を指定する。
--in（In 点）	In 点のフレームまたはタイムコードを指定する。
--out（Out 点）	Out 点のフレームまたはタイムコードを指定する。
--duration（デュレーション）	デュレーションをフレーム数またはタイムコードで指定する。
出力ファイル関係のパラメータ	
--output [-O]（ファイル名）	出力ファイル名の基本部分を指定する。
--dir [-D]（ディレクトリ名）	出力ディレクトリ名を指定する。
--delimiter（文字）	連番ファイル名とシーケンス番号の間に挿入される区切り文字を指定する。 .（ピリオド）、_（アンダーバー）、-（ハイフン）
--digits（桁数）	連番ファイルに付加するシーケンス番号の桁数を指定する。
--start（開始番号）	連番ファイルに付加するシーケンス番号の開始番号を指定する。
--duplication（処理モード）	出力ディレクトリに同名のファイルがある場合の処理を指定する。 ERROR、OVERWRITE、SUBFOLDER
--subfolder	サブフォルダを作成してファイルを出力する。
ビデオ関係のパラメータ	
--video [-V]（フォーマット）	出力ファイルのビデオフォーマットを指定する。 DPX、EXR、SSTP_LITE、SSTP_SQ_422、SSTP_SQ_444、SSTP_HQ、PRORES_PROXY、PRORES_LT、PRORES、PRORES_HQ、PRORES_4444、PRORES_4444XQ、XAVC、NONE
--width（画面の幅）	画面解像度の幅を指定する。
--height（画面の高さ）	画面解像度の高さを指定する。
--resolution（画面解像度）	画面解像度を指定する。
--depth（ビット幅）	映像のビット幅を指定する。
--class（クラス）	XAVC の class を指定する。 100、300、480
--compression（圧縮形式）	OpenEXR の圧縮形式を指定する。 NONE、RLE、ZIPS、ZIP、PIZ
--exrmeta	OpenEXR にメタデータを出力する。
--quality（画質モード）	映像の画質モードを指定する。 QUALITY、SPEED
--flip（反転モード）	映像の反転モードを指定する。 NONE、H、V、HV

パラメータ	機能
--scaling（スケーリングモード）	映像のスケーリングモードを指定する。 ENTIRE、CROP
--desqueeze（倍率）	デスクイーズの倍率を指定する。
--aspect（アスペクト比）	アスペクト比を指定する。
--marker	マーカを有効にする。
--markermask（マスクモード）	マーカのマスクモードを指定する。 OFF、HALF、BLACK
--markerthickness（太さ）	マーカラインの太さを指定する。
--markerintensity（強さ）	マーカラインの強さを指定する。 HIGH、LOW
--trim	--in、--out、--duration で指定した範囲を、元のフォーマットのまま部分出力する。
--changefps (FPS)	FPS を指定した値に変更して出力する。
--sharpness (強度)	シャープネスの強度を指定する。
オーディオ関係のパラメータ	
--audio [-A]（フォーマット）	出力ファイルのオーディオフォーマットを指定する。 BWF、NONE
--ch（出力チャンネル）	出力チャンネルをビットマスクで指定する。
--ch1	Ch 1-2 を出力する。
--ch2	Ch 3-4 を出力する。
--ch3	Ch 5-6 を出力する。
--ch4	Ch 7-8 を出力する。
--ch5	Ch 9-10 を出力する。
--ch6	Ch 11-12 を出力する。
--ch7	Ch 13-14 を出力する。
--ch8	Ch 15-16 を出力する。
色処理関係のパラメータ	
--material（Material Color Space）	Material Color Space を設定する。 SGAMUT_SLOG2、SGAMUT3_SLOG3、 SGAMUT3CINE_SLOG3、REC2020_SLOG3、REC709、 REC2020、ACES、REC2020_SLOG3_LIVE
--range（色値範囲）	色値の範囲を指定する。 FULL、LEGAL
--invootf（OOTF 名）	Inv.HDR の OOTF を指定する。 BYPASS、SLOG3LIVE

パラメータ	機能
--bake（Bake モード）	Bake モードを指定する。 SGAMUT_LINEAR、SGAMUT_SLOG2、SGAMUT3_LINEAR、SGAMUT3_SLOG3、SGAMUT3CINE_SLOG3、ACES、INPUT、ALL
--ei（Exposure Index）	Exposure Index の値を指定する。
--kelvin（ケルビン値）	ケルビン値を指定する。
--tint（tint 値）	tint の値を指定する。
--lineargain（ゲイン値）	リニアゲイン値を指定する。
--lineargainr（ゲイン値のR成分）	
--lineargaing（ゲイン値のG成分）	
--lineargainb（ゲイン値のB成分）	
--ledwallkelvin	ICVFX Mode の LED Wall Kelvin 値を指定する。
--lightblend	ICVFX Mode の Light Blend 値を指定する。
--grading（Grading Color Space）	Grading Color Space を指定する。 SGAMUT_SLOG2、SGAMUT3_SLOG3、SGAMUT3CINE_SLOG3、REC2020_SLOG3、ACESCC、ACESCCT、CUSTOM
--color（色域）	色域を指定する。 REC709 、SGAMUT 、SGAMUT3 、SGAMUT3CINE 、REC2020 、P3DCI、P3D60
--tone（トーンカーブ）	トーンカーブを指定する。 HG8009G40 、HG8009G33 、SLOG2 、SLOG3 、PQ 、HLG 、REC709、GAMMA22、GAMMA24、GAMMA26、ユーザーLUT
--prelut（LUT）	LUT を指定する。 プロファイル番号、ルック名、EMBEDDED3DLUT、LUT 名、3DLUT のファイル名
--cdlmeta	メタデータに記録されている CDL パラメータを適用する。
--cdlfile（CDL ファイル名）	指定したファイルから CDL パラメータを読み込んで適用する。
--contrast（コントラスト値）	CDL のコントラスト値を指定する。
--brightness（輝度値）	CDL の輝度値を指定する。
--lift（リフト値）	CDL のリフト値を指定する。
--liftr（リフト値の R 成分）	
--liftg（リフト値の G 成分）	
--liftb（リフト値の B 成分）	
--gamma（ガンマ値）	CDL のガンマ値を指定する。
--gammar（ガンマ値の R 成分）	
--gammag（ガンマ値の G 成分）	
--gammab（ガンマ値の B 成分）	

パラメータ	機能
--gain（ゲイン値）	CDL のゲイン値を指定する。
--gainr（ゲイン値の R 成分）	
--gaing（ゲイン値の G 成分）	
--gainb（ゲイン値の B 成分）	
--sat（サチュレーション値）	CDL のサチュレーション値を指定する。
--postlut（LUT）	画面表示に使用する LUT を指定する プロファイル番号、ルック名、EMBEDDED3DLUT、LUT 名、3DLUT のファイル名
--eotf（EOTF 名）	EOTF を指定する。 SLOG3、PQ、HLG_VARIABLE、SLOG3LIVE
--ootf（OOTF 名）	OOTF を指定する。 BYPASS、SLOG3LIVE、PQ、HLG
--looktransform（Look Transform 名）	Look Transform を指定する。 NONE、GAMUT、BLAF、07、02、01
--outputtransform（Output Transform 名）	SRGB、SRGB_D60、REC709、REC709_D60、REC2020、REC2020_P3D65、REC2020_REC709、P3D60、P3DCI_D60、P3DCI_D65、P3D65、P3D65_D60、P3D65_REC709、P3D65_108、P3D65_1000、P3D65_2000、P3D65_4000、REC2020_HLG、REC2020_1000、REC2020_2000、REC2020_4000、DCDM、DCDM_P3D60、DCDM_P3D65
メタデータ関係のパラメータ	
--metalist	メタデータの項目名と値を 1 項目 1 行で表示する。
--metaheader	メタデータの項目名をカンマ区切りの CSV 形式で表示する。
--metavalue	メタデータの値をカンマ区切りの CSV 形式で表示する。
--metacdl（ファイル名）	メタデータの CDL 値を、指定したファイル名で出力する。
--metalens	レンズメタデータをファイルに出力する。
--metaspiritlevel	水準器メタデータをファイルに出力する。
パラメータファイル関係のパラメータ	
--config（ファイル名）	指定したファイルからパラメータを読み込んでファイルを出力する。
その他のパラメータ	
--device（デバイス）	使用デバイスを指定する。 0（自動）、1（CPU）
--display（進捗表示モード）	進捗表示モードを指定する。 0（表示しない）、1（%表示）、2（プログレスバー表示）
--version	RAW Exporter のバージョンを表示する。
--help	指定可能なパラメータのリストを表示する。

入力ファイル関係のパラメータ

--input [-I]（ファイル名）

入力ファイル名を指定します。サポートするフォーマットは、MXF、ProRes、DPX、OpenEXR です。
DPX/OpenEXR のファイル名を指定した場合、そのファイルを先頭とする連番ファイル（ベース名＋数値）が読み込まれます。
同じベース名の wav ファイルが存在すれば、オーディオとして読み込まれます。
-I と省略することも可能です。

--in（In 点）

In 点を先頭からのフレーム数またはタイムコード（HH:MM:SS:FF）で指定します。
このパラメータを省略した場合は、0 が設定されます。
--out、または--duration との組み合わせで、入力ファイルの範囲を指定します。

--out（Out 点）

Out 点を先頭からのフレーム数またはタイムコード（HH:MM:SS:FF）で指定します。
このパラメータを省略した場合は、「総フレーム数－1」が設定されます。
--out と--duration を両方指定した場合は、--out が有効になります。

--duration（デュレーション）

デュレーションをフレーム数またはタイムコード（HH:MM:SS:FF）で指定します。
このパラメータを省略した場合は、「総フレーム数－In 点のフレーム数」が設定されます。
--out と--duration を両方指定した場合は、--out が有効になります。

出力ファイル関係のパラメータ

--output [-O]（出力ファイル名）

出力するファイル名の基本部分を指定します。
-O と省略することも可能です。
出力されるファイル名は、ここで指定した文字列に連番と拡張子が自動的に付加されます。
（例：sample00001.dpx）
このパラメータを省略した場合は、入力ファイル名が設定されます。

--dir [-D]（出力ディレクトリ名）

出力するディレクトリ名を指定します。
-D と省略することも可能です。
このパラメータを省略した場合は、カレントディレクトリが設定されます。

--delimiter（文字）

出力ファイル名とシーケンス番号の間に挿入される区切り文字を指定します。

「.（ピリオド）」、「_（アンダーバー）」、「-（ハイフン）」が選択できます。

このパラメータを省略した場合は、「.（ピリオド）」が設定されます。

--digits（シーケンス番号の桁数）

連番ファイル名に付加されるシーケンス番号の桁数を指定します。

指定できる桁数は、4～10 です。このパラメータを省略した場合は、5 が設定されます。

--start（シーケンス番号の開始番号）

連番ファイル名に付加されるシーケンス番号の開始番号を指定します。

このパラメータを省略した場合は、0 が設定されます。

--duplication（ファイル重複時の処理モード）

指定したファイル名のファイルがすでにフォルダ内に存在していた場合の処理を選択します。次のいずれかの文字列を指定します。

引数	意味
ERROR	エラー終了する。
OVERWRITE	ファイルを上書きする。
SUBFOLDER	ファイル名と同名のサブフォルダを作成して、そのフォルダにファイルを出力する。

このパラメータを省略した場合は、ERROR が設定されます。

--subfolder を同時に指定した場合、このパラメータは無効になります。

--subfolder

指定したファイル名と同名のサブフォルダを自動的に作成し、そのフォルダにファイルを出力します。

ビデオ関係のパラメータ

--video [-V]（ビデオフォーマット）

出力ファイルのビデオフォーマットを指定します。次のいずれかの文字列を指定します。

引数	意味
DPX	dpx ファイル
EXR	OpenEXR ファイル
SSTP_LITE	SStP SR-Lite 422
SSTP_SQ422	SStP SR-SQ 422
SSTP_SQ444	SStP SR-SQ 444
SSTP_HQ	SStP SR-HQ 444
PRORES_PROXY	Prores 422 (Proxy)
PRORES_LT	Prores 422 (LT)
PRORES	Prores 422
PRORES_HQ	Prores 422 (HQ)
PRORES_4444 [1)]	Prores 4444
PRORES_4444XQ [1)]	Prores 4444
XAVC	XAVC
NONE	出力しない

1) PRORES_4444、PRORES_4444XQ は、入力ファイルのコーデックが以下のいずれかの場合に指定可能

- SStP（Sub Sampling が 4:4:4）
- RAW
- X-OCN

このパラメータを省略した場合は、NONE が設定されます。

--width（画面の幅）

画面解像度の横幅を指定します。

画面解像度は、--width と--height の組み合わせで指定するか、--resolution で指定します。両方指定した場合は、--resolution が有効になります。

--height（画面の高さ）

画面解像度の高さを指定します。

--resolution（画面解像度）

画面解像度を、次のいずれかの文字列で指定します。

引数	解像度
8192x4320	8192×4320
7680x4320	7680×4320
4096x2160	4096×2160
3840x2160	3840×2160
2048x1080	2048×1080
1920x1080	1920×1080
4096x1716	4096×1716
3996x2160	3996×2160
2048x858	2048×858
1998x1080	1998×1080
FULL	入力解像度と同じ解像度
1/2	入力解像度の半分の解像度
8K	8192×4320
UTDTV	7680×4320
8KUHD	7680×4320
4K	4096×2160
QFHD	3840×2160
UHD	3840×2160
2K	2048×1080
HD	1920×1080
4KSCOPE	4096×1716
4KFLAT	3996×2160
2KSCOPE	2048×858
2KFLAT	1998×1080

なお、指定できる引数は、--video に指定したビデオフォーマット、入力ファイルのメタデータに記録されたビデオコーデックと解像度によって異なります。

--video が DPX または EXR の場合

すべての解像度が指定できます。

--width、--height、--resolution をすべて省略した場合は、入力ファイルの解像度の値が設定されます。

--video が SSTP で始まる引数の場合

1920×1080 のみ指定できます。

--width、--height、--resolution をすべて省略した場合は、1920×1080 が設定されます。

--video が PRORES で始まる引数の場合

4096×2160、3840×2160、2048×1080 または 1920×1080 が指定できます。

--width、--height、--resolution をすべて省略した場合は、入力ファイルの解像度の値が設定されます。ただし、入力ファイルの解像度が 4096×2160 を超える場合は、4096×2160 が設定されます。

--video が XAVC の場合

4096×2160、3840×2160、2048×1080 または 1920×1080 が指定できます。

フレームレートが 24P の場合は、4096×2160 または 2048×1080 が指定できます。

--width、--height、--resolution をすべて省略した場合は、入力ファイルの解像度の値が設定されます。

--trim を同時に指定した場合、このパラメータは無効になります。

--depth（ビット幅）

画像のビット幅を指定します。

指定できる引数は、--video に指定したビデオフォーマットによって異なります。

ビデオフォーマット	選択可能な引数	省略時の引数
DPX	10 / 16	16
EXR	16 / 32	32
SSTP_LITE	10	10
SSTP_SQ_422	10	10
SSTP_SQ_444	10	10
SSTP_HQ	10 / 12	12
PRORES_PROXY	10	10
PRORES_LT	10	10
PRORES	10	10
PRORES_HQ	10	10
PRORES_4444	12	12
PRORES_4444XQ	12	12
XAVC	10	10

--trim を同時に指定した場合、このパラメータは無効になります。

--class（クラス）

XAVC の class を指定します。--video に XAVC を指定した場合に有効になります。

引数	意味
100	Class100
300	Class300
480	Class480

指定できる引数は、解像度によって異なります。

解像度	指定可能な引数	省略時の引数
1920×1080	100	100
2040×1080	100	100
3840×2160	300、480	300
4096×2160	300、480	300

--compression（圧縮形式）

OpenEXR の圧縮形式を指定します。--video に EXR を指定した場合に有効になります。

引数	意味
NONE	非圧縮
RLE	ランレングスエンコーディング
ZIPS	zip 圧縮（1 スキャンライン）
ZIP	zip 圧縮（16 スキャンライン）
PIZ	ウェーブレット圧縮

このパラメータを省略した場合は、NONE が設定されます。

--exrmeta

OpenEXR にメタデータを出力します。

--quality（画質モード）

次のどちらかのモードを指定します。

引数	意味
QUALITY	画質優先
SPEED	速度優先

このパラメータは、入力ファイルが RAW の場合のみ有効になります。

入力ファイルのビデオコーデックが F65RAW SQ または F65RAW Lite の場合、--Resolution が 8192x4320 または 7680x4320 のときは、このパラメータは無効になります。

入力ファイルのビデオコーデックが F65RAW SQ HFR の場合、--Resolution が 8192x4320、7680x4320、4096x2160、3840×2160、4096x1716、3996x2160 のいずれかのときは、このパラメータは無効になります。

このパラメータを省略した場合は、QUALITY が設定されます。

入力ファイルのビデオコーデックおよび解像度によって、指定できる--video、--resolution、--quality の組み合わせは次のようになります。

F65RAW SQ/Lite の場合

--resolution	--video					--quality
	DPX/EXR	SSTP	PRORES	XAVC	XAVC(24P)	
8192×4320	○	×	×	×	×	×
7680×4320	○	×	×	×	×	×
4096×2160	○	×	○	○	○	○
3840×2160	○	×	○	○	×	○
2048×1080	○	×	○	○	○	○
1920×1080	○	○	○	○	×	○
4096×1716	○	×	×	×	×	○
3996×2160	○	×	×	×	×	○
2048×858	○	×	×	×	×	○
1998×1080	○	×	×	×	×	○
FULL	○	×	×	×	×	○
1/2	○	×	×	×	×	○

F65RAW SQ HFR の場合

--resolution	--video					--quality
	DPX/EXR	SSTP	PRORES	XAVC	XAVC(24P)	
8192×4320	○	×	×	×	×	×
7680×4320	○	×	×	×	×	×
4096×2160	○	×	○	○	○	×
3840×2160	○	×	○	○	×	×
2048×1080	○	×	○	○	○	○
1920×1080	○	○	○	○	×	○
4096×1716	○	×	×	×	×	×
3996×2160	○	×	×	×	×	×
2048×858	○	×	×	×	×	○
1998×1080	○	×	×	×	×	○
FULL	○	×	×	×	×	×
1/2	○	×	×	×	×	○

F55/F5/FS700RAW、MPC-3610（VENICE/CineAltaV）、MPC-3628、MPC-3626(VENICE 2/CineAltaV 2)、MPC-2610(BURANO/CineAltaB)の場合

--resolution	--video					--quality
	DPX/EXR	SSTP	PRORES	XAVC	XAVC(24P)	
8192×4320	○	×	×	×	×	○
7680×4320	○	×	×	×	×	○
4096×2160	○	×	○	○	○	○
3840×2160	○	×	○	○	×	○
2048×1080	○	×	○	○	○	○
1920×1080	○	○	○	○	×	○
4096×1716	○	×	×	×	×	○
3996×2160	○	×	×	×	×	○
2048×858	○	×	×	×	×	○
1998×1080	○	×	×	×	×	○
FULL	○	×	×	×	×	○
1/2	○	×	×	×	×	○

XAVC、SStP、DPX/OpenEXR、ProRes の場合

--resolution	--video					--quality
	DPX/EXR	SSTP	PRORES	XAVC	XAVC(24P)	
8192×4320	○	×	×	×	×	×
7680×4320	○	×	×	×	×	×
4096×2160	○	×	○	○	○	×
3840×2160	○	×	○	○	×	×
2048×1080	○	×	○	○	○	×
1920×1080	○	○	○	○	×	×
4096×1716	○	×	×	×	×	×
3996×2160	○	×	×	×	×	×
2048×858	○	×	×	×	×	×
1998×1080	○	×	×	×	×	×
FULL	○	×	×	×	×	×

--flip（反転モード）

映像の反転モードを指定します。

引数	意味
NONE	反転しない
H	左右反転
V	上下反転

HV	180 度回転

--scaling（スケーリングモード）

映像のスケーリングモードを指定します。

引数	意味
ENTIRE	映像の上下または左右に黒帯を付けて出力する
CROP	--aspect で指定したアスペクト比になるよう映像の上下または左右をカットし、その画像の上下または左右に黒帯を付けて出力する

このパラメータを省略した場合は、ENTIRE が設定されます。

--resolution に FULL、1/2 または 4096×2160 を超える値を指定した場合、このパラメータは無効になります。

--desqueeze（倍率）

デスクイーズの倍率を指定します。

引数	意味
1	x1
1.25	x1.25
1.3	x1.3
1.5	x1.5
1.65	x1.65
1.8	x1.8
2	x2.0

このパラメータを省略した場合は、1 が設定されます。

--resolution に FULL、1/2 または 4096×2160 を超える値を指定した場合、このパラメータは無効になります。

--aspect（アスペクト比）

アスペクト比を指定します。

引数	意味
OFF	OFF
4:3	4:3
13:9	13:9
14:9	14:9
15:9	15:9
16:9	16:9

17:9	17:9
9:16	9:16
1:1	1:1
1.43:1	1.43:1
1.66:1	1.66:1
1.85:1	1.85:1
2:1	2:1
2.2:1	2.2:1
2.35:1	2.35:1
2.39:1	2.39:1

OFF を指定した場合は、入力ファイルのアスペクト比が設定されます。
このパラメータを省略した場合は、OFF が設定されます。

--marker

マーカを有効にします。
--markermask、--markerthickness、--markerintensity で設定した値のマーカが描画されます。
--scaling に CROP を指定した場合、このパラメータは無効になります。

--markermask（マスクモード）

マーカのマスクモードを指定します。

引数	意味
OFF	Off
HALF	マスクの不透明度を 50%にして表示する
BLACK	マスクの不透明度を 100%にして表示する

このパラメータを省略した場合は、HALF が設定されます。

--markerthickness（太さ）

マーカラインの太さを指定します。
指定できる範囲は、1～8です。このパラメータを省略した場合は、2が設定されます。

--markerintensity（強さ）

マーカラインの強さを指定します。

引数	意味
HIGH	High
LOW	Low

このパラメータを省略した場合は、HIGH が設定されます。

--trim

--in、--out、--duration で指定した範囲を、元のフォーマットのまま部分出力します。
--video または--audio を同時に指定した場合、このパラメータは無効になります。

このパラメータを指定した場合は、--input、--in、--out、--duration、--output、--dir、--duplication、--subfolder の各パラメータで指定した値が使用されます。

--changefps (FPS)

出力ファイルの FPS を指定します。

引数	意味
23.98	23.98
24	24
25	25
29.97DF	29.97 DF
29.97NDF	29.97 NDF
47.95	47.95
50	50
59.94DF	59.94 DF
59.94NDF	59.94 NDF

--video、--audio、--trim のいずれかのパラメータを同時に指定した場合、このパラメータは無効になります。
--changefps のパラメータを指定した場合、--input、--output、--dir、--duplication、--subfolder の各パラメータで指定した値が使用されます。

--sharpness (強度)

シャープネスの強度を指定します。
指定できる範囲は-300～500 です。このパラメータを省略した場合は 0 が設定されます。

入力ファイルのコーデックが X-OCN、RAW(F65 は除く)の場合に適用可能です。
出力解像度を入力と異なる解像度に設定した場合は、画質モードを QUALITY に設定した場合のみ適用可能です。

オーディオ関係のパラメータ

--audio [-A]（オーディオフォーマット）

オーディオフォーマットを指定します。次のいずれかの文字列を指定します。

引数	意味
BWF	bwf ファイル
NONE	出力しない

このパラメータを省略した場合は、NONE が設定されます。

入力ファイルが SStP または XAVC の場合、このパラメータは無効になります。

--ch（出力チャンネル）

出力するチャンネルをビットマスクで指定します。

--ch1～8

出力するチャンネルを指定します。

引数	意味
--ch1	Ch 1-2 を出力
--ch2	Ch 3-4 を出力
--ch3	Ch 5-6 を出力
--ch4	Ch 7-8 を出力
--ch5	Ch 9-10 を出力
--ch6	Ch 11-12 を出力
--ch7	Ch 13-14 を出力
--ch8	Ch 15-16 を出力

--ch、--ch1～--ch8 で指定したチャンネルがすべて出力されます。

--ch、-ch1～--ch8 をすべて省略した場合は、全チャンネルが出力されます。

例：

rawexporter --ch 3 --ch5

Ch 1-2, Ch 3-4, Ch 9-10 が出力されます。

色処理関係のパラメータ

--material（Material Color Space）

Material Color Space を指定します。

引数	意味
SGAMUT_SLOG2	S-Gamut/S-Log2
SGAMUT3_SLOG3	S-Gamut3/S-Log3
SGAMUT3CINE_SLOG3	S-Gamut3.Cine/S-Log3
REC2020_SLOG3	Rec2020/S-Log3
REC709	Rec709
REC2020	Rec2020
ACES	ACES
REC2020_SLOG3_LIVE	Rec2020/S-Log3(Live)

Material Color Space は入力ファイルのビデオコーデックと Capture Gamma メタデータから以下の表の通りに設定されます。Capture Gamma メタデータが存在しない場合でも、--material パラメータを使って設定することが可能です。

入力ファイルのビデオコーデックが SStP または XAVC で、入力ファイルの Capture Gamma メタデータが、S-Log2、S-Log3/S-Gamut3、S-Log3/S-Gamut3.Cine の場合には、--material パラメータによる設定ができません。

コーデック	Capture Gamma	Material Color Space	--material 設定
RAW/X-OCN	任意	RAW/X-OCN	×
SStP/XAVC	S-Log2	S-Gamut/S-Log2	×
	S-Log3/S-Gamut3	S-Gamut3/S-Log3	×
	S-Log3/S-Gamut3.Cine	S-Gamut3.Cine/S-Log3	×
	その他	Rec709	○
DPX/OpenEXR	任意	Rec709	○

--range（色値範囲）

色値の範囲を指定します。

引数	意味
FULL	フルレンジ
LEGAL	リーガルレンジ

このパラメータを省略した場合は FULL が設定されます。

Material Color Space によって、指定できる引数が下記のように制限されます。

Material Color Space	FULL	LEGAL
RAW/X-OCN	○	×
S-Gamut/S-Log2	○	×
S-Gamut3/S-Log3	○	×
S-Gamut3.Cine/S-Log3	○	×
Rec2020/S-Log3	○	×
Rec709	○	○
Rec2020	○	○
ACES	○	×
Rec2020/S-Log3(Live)	○	×

--invootf (OOTF 名)

適用する Inv.HDR の OOTF を指定します。

引数	意味
BYPASS	Bypass
SLOG3LIVE	S-Log3(Live)

このパラメータを省略した場合は、BYPASS が設定されます。

Material Color Space によって、指定できる引数が下記のように制限されます。

Material Color Space	BYPASS	SLOG3LIVE
RAW/X-OCN	×	×
S-Gamut/S-Log2	×	×
S-Gamut3/S-Log3	×	×
S-Gamut3.Cine/S-Log3	×	×
Rec2020/S-Log3	○	○
Rec709	×	×
Rec2020	×	×
ACES	×	×
Rec2020/S-Log3(Live)	○	×

--bake（Bake モード）

Bake モードを指定します。

引数	意味
SGAMUT_LINEAR	S-Gamut/Linear
SGAMUT_SLOG2	S-Gamut/S-Log2
SGAMUT3_LINEAR	S-Gamut3/Linear
SGAMUT3_SLOG3	S-Gamut3/S-Log3
SGAMUT3CINE_SLOG3	S-Gamut3.Cine/S-Log3
ACES_LINEAR	ACES/Linear
INPUT	Input Settings のパラメータを適用する
ALL	すべてのパラメータを適用する

INPUT、ALL 以外の引数を指定した場合、色処理関係の他のパラメータは無効になります。

INPUT を指定した場合、--ei、--kelvin、--tint、--color、--tone、--colorlut が有効になり、色処理関係の他のパラメータは無効になります。

--video に SSTP、PRORES で始まる引数、または XAVC を指定した場合、SGAMUT_LINEAR、SGAMUT3_LINEAR、および ACES__LINEAR は指定できません。

このパラメータを省略した場合は、ALL が設定されます。

Material Color Space によって、指定できる引数が下記のように制限されます。

Material Color Space	SGAMUT_LINEAR	SGAMUT_SLOG2	SGAMUT3_LINEAR	SGAMUT3_SLOG3	SGAMUT3CINE_SLOG3	ACES_LINEAR	INPUT	ALL
RAW/X-OCN(F65/F55/F5/FS700)	○	○	○	○	○	○	○	○
RAW/X-OCN(上記モデル以外)	×	×	○	○	○	○	○	○
S-Gamut/S-Log2	○	○	×	×	×	○	○	○
S-Gamut3/S-Log3	×	×	○	○	○	○	○	○
S-Gamut3.Cine/S-Log3	×	×	○	○	○	○	○	○
Rec2020/S-Log3	×	×	○	○	○	○	○	○
Rec709	×	×	×	×	×	×	×	○
Rec2020	×	×	×	×	×	×	×	○
ACES	×	×	○	○	○	○	○	○
Rec2020/S-Log3(Live)	×	×	○	○	○	○	○	○

--ei（Exposure Index）

--bake に INPUT または ALL を指定したときに、Exposure Index の値を指定します。

指定できる値は、80～10000 です。

このパラメータを省略した場合は、メタデータに記録されている値が設定されます。

--kelvin（ケルビン値）

--bake に INPUT または ALL を指定したときに、ケルビン値を指定します。

指定できる値は、2000～32000 です。

このパラメータを省略した場合は、メタデータに記録されている値が設定されます。

--tint（Tint 値）

--bake に INPUT または ALL を指定したときに、tint の値を指定します。

指定できる値は、-100.0～100.0です。

このパラメータを省略した場合は、0.0 が設定されます。

--lineargain（ゲイン値）、--lineargainr（ゲイン値の R 成分）、--lineargaing（ゲイン値の G 成分）、--lineargainb（ゲイン値の B 成分）

リニアゲイン値を指定します。RGB 成分別に指定する場合は、--lineargainr、--lineargaing、--lineargainb を使用します。

--lineargain と--lineargainr/--lineargaing/--lineargainb のいずれかを同時に指定した場合は、--lineargainr/--lineargaing/--lineargainb が有効になります。

指定できる値は、-2.0～2.0 です。

このパラメータを省略した場合は、0.0 が設定されます。

--ledwallkelvin (LED Wall Kelvin)

--bake に INPUT または ALL を指定したときに、ICVFX Mode を利用する場合の LED Wall Kelvin の値を指定します。

指定できる値は、2000～32000 です。

このパラメータを省略した場合は、メタデータに記録されている値が設定されます。

--lightblend (Light Blend)

--bake に INPUT または ALL を指定したときに、ICVFX Mode を利用する場合の Light Blend の値を指定します。

指定できる値は、100～0 です。

このパラメータを省略した場合は、メタデータに記録されている値が設定されます。

--grading（Grading Color Space）

Grading Color Space を指定します。

引数	意味
SGAMUT_SLOG2	S-Gamut/S-Log2
SGAMUT3_SLOG3	S-Gamut3/S-Log3
SGAMUT3CINE_SLOG3	S-Gamut3.Cine/S-Log3
REC2020_SLOG3	Rec2020/S-Log3

ACESCC	ACEScc
ACESCCT	ACEScct
CUSTOM	--color および--tone の指定に従う

このパラメータを省略した場合は、CUSTOM が設定されます。

Material Color Space によって、指定できる引数が下記のように制限されます。

Material Color Space	SGAMUT_SLOG2	SGAMUT3_SLOG3	SGAMUT3CINE_SLOG3	REC2020_SLOG3	ACESCC	CUSTOM
RAW/X-OCN(F65/F55/F5/FS700)	○	○	○	○	○	○
RAW/X-OCN(上記モデル以外)	×	○	○	○	○	○
S-Gamut/S-Log2	○	×	×	×	○	○
S-Gamut3/S-Log3	×	○	○	○	○	○
S-Gamut3.Cine/S-Log3	×	○	○	○	○	○
Rec2020/S-Log3	×	○	○	○	○	○
Rec709	×	×	×	×	×	×
Rec2020	×	×	×	×	×	×
ACES	×	○	○	○	○	○
Rec2020/S-Log3(Live)	×	○	○	○	○	○

--color（色域）

--bake に INPUT または ALL を指定し、--grading に CUSTOM を指定した場合に、色域を指定します。

引数	意味
REC709	Rec709
SGAMUT	S-Gamut
SGAMUT3	S-Gamut3
SGAMUT3CINE	S-Gamut3.Cine
REC2020	Rec2020
P3DCI	P3DCI
P3D60	P3D60

このパラメータを省略した場合は、REC709 が設定されます。

Material Color Space によって、指定できる引数が下記のように制限されます。

Material Color Space	REC709	SGAMUT	SGAMUT3	SGAMUT3CINE	REC2020	P3DCI	P3D60
RAW、X-OCN	○	○	○	○	○	○	○
S-Gamut/S-Log2	○	○	×	×	×	○	○
S-Gamut3/S-Log3	○	×	○	○	○	○	○

S-Gamut3.Cine/S-Log3	○	×	○	○	○	○	○
Rec2020/-SLog3	○	×	○	○	○	○	○
Rec709	×	×	×	×	×	×	×
Rec2020	×	×	×	×	×	×	×
ACES	○	×	○	○	○	○	○
Rec2020/S-Log3(Live)	○	×	○	○	○	○	○

--tone（トーンカーブ）

--bake に INPUT または ALL を指定し、--color に CUSTOM を指定した場合に、トーンカーブを指定します。

引数	意味
HG8009G40	HG8009G40
HG8009G33	HG8009G33
SLOG2	S-Log2
SLOG3	S-Log3
PQ	PQ
HLG	HLG
REC709	REC709
GAMMA22	Gamma2.2
GAMMA24	Gamma2.4
GAMMA26	Gamma2.6
ユーザーLUT	指定したユーザーLUT を使用する

ユーザーLUT を指定する場合は、1D LUT（*.spild、*.lut、*.txt）のフルパス、または LUT 名を指定します。
このパラメータを省略した場合は、709 が設定されます。

--prelut（LUT）

--bake に INPUT または ALL を指定した場合に、LUT を指定します。
ルックプロファイルを使用する場合は、プロファイル番号またはルック名を指定します。指定する文字列と選択される LUT は下記になります。

指定文字列	LUT 名称
1	1.LC_709
2	2.LC_709TypeA
3	3.SLog2_709
4	4.Cine+709
S709	s709
R709	R709(800%)
WARM	Warm
COOL	Cool
VINTAGE	Vintage
TEALORG	Teal and Orange

EMBEDDED3DLUT を指定した場合、MXF に保存されている LUT が使用されます。MXF に LUT が保存されていない場合は、LUT が適用されません。
ユーザーLUT を使用する場合は、LUT 名または 3D LUT ファイル（*.cube）のフルパスを指定します。指定したファイルが存在しないときは、エラーとなります。

このパラメータを省略した場合は、LUT が適用されません。

--grading によって、指定できる引数が下記のように制限されます。

grading	プロファイル番号	ルック名	EMBEDDED 3DLUT	ユーザーLUT
SGAMUT_SLOG2	○	×	×	○
SGAMUT3_SLOG3	×	○	○	○
SGAMUT3CINE_SLOG3	○	○	○	○
REC2020_SLOG3	×	×	×	○
ACESCC ACEScc	×	×	×	○
ACESCCT ACEScct	×	×	×	○
CUSTOM	×	×	×	×

--cdlmeta

メタデータに記録されている CDL パラメータを適用します。

--cdlmeta と--cdlfile を同時に指定することはできません。

このパラメータは、--bake に ALL を指定したときに有効になります。

--cdlfile（CDL ファイル名）

指定したファイルから CDL パラメータを読み込んで、適用します。

--cdlmeta と--cdlfile を同時に指定することはできません。

このパラメータは、--bake に ALL を指定したときに有効になります。

--contrast（コントラスト値）

CDL のコントラスト値を指定します。

指定できる値は、-1.0～1.0 です。

このパラメータを省略した場合は、0.0 が設定されます。

--brightness（輝度値）

CDL の輝度値を指定します。

指定できる値は、-10.0～10.0 です。

このパラメータを省略した場合は、0.0 が設定されます。

--lift（リフト値）、--liftr（リフト値の R 成分）、--liftg（リフト値の G 成分）、--liftb（リフト値の B 成分）

CDL のリフト値を指定します。RGB 成分別に指定する場合は、--liftr、--liftg、--liftb を使用します。

--lift と--liftr/--liftg/--liftb のいずれかを同時に指定した場合は、--liftr/--liftg/--liftb が有効になります。

指定できる値は、-1.0～1.0 です。

このパラメータを省略した場合は、0.0 が設定されます。

--gamma（ガンマ値）、--gammar（ガンマ値の R 成分）、--gammag（ガンマ値の G 成分）、--gammab（ガンマ値の B 成分）

CDL のガンマ値を指定します。RGB 成分別に指定する場合は、--gammar、--gammag、--gammab を使用します。

--gamma と--gammar/--gammag/--gammab のいずれかを同時に指定した場合は、--gammar/--gammag/--gammab が有効になります。

指定できる値は、0.0～2.0 です。

このパラメータを省略した場合は、1.0 が設定されます。

--gain（ゲイン値）、--gainr（ゲイン値の R 成分）、--gaing（ゲイン値の G 成分）、--gainb（ゲイン値の B 成分）

CDL のゲイン値を指定します。RGB 成分別に指定する場合は、--gainr、--gaing、--gainb を使用します。

--gain と--gainr/--gaing/--gainb のいずれかを同時に指定した場合は、--gainr/--gaing/--gainb が有効になります。

指定できる値は、0.0～4.0 です。

このパラメータを省略した場合は、1.0 が設定されます。

--sat（サチュレーション値）

CDL のサチュレーション値を指定します。

指定できる値は、0.0～5.0 です。

このパラメータを省略した場合は、1.0 が設定されます。

CDL の値は、--bake に ALL を指定した上で、次の各パラメータで決定します。

- --cdlmeta、または--cdlfile
- --contrast、--brightness、--lift、--gamma、--gain、--sat

メタデータの CDL 値（--cdlmeta を指定した場合）、またはファイルから読み込んだ CDL 値（--cdlfile を指定した場合）を元に、他のパラメータでコントラスト、輝度、リフト、ガンマ、ゲイン、およびサチュレーションを変更します。

上記のパラメータをすべて省略した場合は、メタデータの CDL 値を適用します。

--postlut（LUT）

--bake に INPUT または ALL を指定した場合に、LUT を指定します。

ルックプロファイルを使用する場合は、プロファイル番号またはルック名を指定します。指定する文字列と選択される LUT は下記になります。

指定文字列	LUT 名称
1	1.LC_709
2	2.LC_709TypeA
3	3.SLog2_709

4	4.Cine+709
S709	s709
R709	R709(800%)
WARM	Warm
COOL	Cool
VINTAGE	Vintage
TEALORG	Teal and Orange

EMBEDDED3DLUT を指定した場合、MXF に保存されている LUT が使用されます。MXF に LUT が保存されていない場合は、LUT が適用されません。
ユーザーLUT を使用する場合は、LUT 名または 3D LUT ファイル（*.cube）のフルパスを指定します。指定したファイルが存在しないときは、エラーとなります。
このパラメータを省略した場合は、LUT は適用されません。

--grading によって、指定できる引数が下記のように制限されます。

grading	**プロファイル番号**	**ルック名**	**EMBEDDED 3DLUT**	**ユーザーLUT**
SGAMUT_SLOG2	○	×	×	○
SGAMUT3_SLOG3	×	○	○	○
SGAMUT3CINE_SLOG3	○	○	○	○
REC2020_SLOG3	×	×	×	○
ACESCC ACEScc	×	×	×	○
ACESCCT ACEScct	×	×	×	○
CUSTOM	×	×	×	×

色処理関係のパラメータは、--bake、--grading の指定によって、指定できるパラメータが異なります。指定できるパラメータを、次の表に示します。

bake	**ALL**					**INPUT**					**その他**
grading	SGAMUT_SLOG2 SGAMUT3CINE_SLOG3	SGAMUT3_SLOG3	REC2020_SLOG3	ACESCC ACESCCT	CUSTOM	SGAMUT_SLOG2 SGAMUT3CINE_SLOG3	SGAMUT3_SLOG3	REC2020_SLOG3	ACESCC ACESCCT	CUSTOM	
ei	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
kelvin	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
tint	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
lineargain	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
color	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×
tone	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×
prelut (ID)	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
prelut (USER)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×
cdlmeta	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
cdlfile	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
contrast	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
brightness	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
lift	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
gamma	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
gain	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
sat	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
postlut (ID)	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
postlut (USER)	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×
eotf	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
ootf	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
looktransform	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×
outputtransform	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×

○：指定可能

×：指定不可

--eotf（EOTF 名）

--bake に ALL、--grading に REC2020_SLOG3 を指定したときに、適用する EOTF を指定します。

引数	意味
SLOG3	S-Log3
PQ	PQ
HLG_VARIABLE	HLG Variable
SLOG3LIVE	S-Log3(Live)

このパラメータを省略した場合は、SLOG3 が設定されます。

--ootf（OOTF 名）

--bake に ALL、--grading に REC2020_SLOG3 を指定したときに、適用する OOTF を指定します。

引数	意味
BYPASS	Bypass
SLOG3LIVE	S-Log3(Live)
PQ	PQ
HLG	HLG

このパラメータを省略した場合は、BYPASS が設定されます。

--eotf の指定によって、指摘できる引数が下記のように制限されます。

eotf	BYPASS	SLOG3LIVE	PQ	HLG
SLOG3	○	○	○	×
PQ	○	○	○	×
HLG_VARIABLE	○	○	×	○
SLOG3LIVE	×	○	×	×

--looktransform（Look Transform 名）

--bake に ALL、--grading に ACESCC または ACESCCT を指定したときに、適用する Look Transform を指定します。

引数	意味
NONE	適用しない
GAMUT	Gamut Compress
BLAF	Blue Light Artifact Fix
07	0.7 emulation
02	0.2 emulation
01	0.1 emulation

このパラメータを省略した場合は、Look Transform は適用されません。

--outputtransform（Output Transform 名）

--bake に ALL、--grading に ACESCC または ACESCCT を指定したときに、適用する Output Transform を指定します。

引数	意味
SRGB	sRGB
SRGB_D60	sRGB (D60 sim.)
REC709	Rec.709
REC709_D60	Rec.709 (D60 sim.)
REC2020	Rec.2020
REC2020_P3D65	Rec.2020 (P3D65 Limited)
REC2020_REC709	Rec.2020 (Rec.709 Limited)
P3D60	P3-D60
P3DCI_D60	P3-DCI (D60 simulation)
P3DCI_D65	P3-DCI (D65 simulation)
P3D65	P3D65
P3D65_D60	P3D65 (D60 simulation)
P3D65_REC709	P3D65 (Rec.709 Limited)
P3D65_108	P3D65 ST2084 (108 nits)
P3D65_1000	P3-D65 ST2084 (1000 nits)
P3D65_2000	P3-D65 ST2084 (2000 nits)
P3D65_4000	P3-D65 ST2084 (4000 nits)
REC2020_HLG	Rec.2020 HLG (1000 nits)
REC2020_1000	Rec.2020 ST2084 (1000 nits)
REC2020_2000	Rec.2020 ST2084 (2000 nits)
REC2020_4000	Rec.2020 ST2084 (4000 nits)
DCDM	DCDM
DCDM_P3D60	DCDM (P3D60 Limited)
DCDM_P3D65	DCDM (P3D65 Limited)

このパラメータを省略した場合は、SRGB が設定されます。

メタデータ関係のパラメータ

メタデータの内容を表示または出力します。下記のパラメータを指定した場合は、ビデオは出力されません。

--metalist

メタデータの項目名と値を 1 項目 1 行で表示します。

各行は、下記の形式で表示されます。

項目名:(TAB)値

--metaheader

メタデータの項目名をカンマ区切りの CSV 形式で表示します。

--metavalue

メタデータの値をカンマ区切りの CSV 形式で表示します。

--metacdl（ファイル名）

メタデータの CDL 値を、指定したファイルに出力します。

--metalens

レンズメタデータをカンマ区切りの CSV 形式でファイルに出力します。

出力範囲は入力ファイル関係のパラメータで指定します。出力ファイル名は出力ファイル関係のパラメータで指定します。

--metaspiritlevel

水準器メタデータをカンマ区切りの CSV 形式でファイルに出力します。

出力範囲は入力ファイル関係のパラメータで指定します。出力ファイル名は出力ファイル関係のパラメータで指定します。

--metalist、--metaheader、--metavalue、--metacdl、--metalens、--metaspiritlevel は、同時に指定できません。

パラメータファイル関係のパラメータ

--config（パラメータファイル名）

パラメータを記述したファイルを指定し、ファイルからパラメータを読み込みます。

ファイルに指定されたパラメータがコマンドラインにも指定されている場合は、コマンドラインが優先されます。

パラメータファイルについて

パラメータファイルは、下記のように 1 行 1 パラメータで記述します。

引数を取らないパラメータを記述する場合は、「=」を記述します。

#で始まる行は、コメントアウトされます。

```
video = DPX
width = 4096
height = 2180
#audio = BWF
subfolder =
```

その他のパラメータ

--device（使用デバイス）

使用デバイスを選択します。0 または 1 を指定します。

引数	意味
0	デバイスを自動で選択する。使用できる GPU がある場合は、最初に見つかった GPU を使用し、GPU がない場合は、CPU を使用する。
1	CPU を使用する。

このパラメータを省略した場合は、0 が設定されます。

--display（進捗表示モード）

進捗表示モードを選択します。次のいずれかを指定します。

引数	意味
0	進捗を表示しない。
1	進捗を%で表示する。
2	進捗を下記のようなプログレスバーで表示する。- が 1%、| が 10%を表す。 例: ---------|---------|---------|--

このパラメータを省略した場合は、1 が設定されます。

--version

バージョンを表示します。ファイルは出力しません。

--help

指定可能なパラメータのリストを表示します。ファイルは出力しません。